

先日の新聞に、枚方のある地区の自治会報が発刊から20年を迎え、通算124号を数えたとの記事が載っていました。20年間も発行を継続できたのは、「住民の絆作りに役立つ信頼される紙面を目指し、改革の旗色褪せるまで振り続ける覚悟と意気込み」との事です。我が会報も平成26年5月の1号発行から39号を迎えることができましたが、まだまだ皆様のご評価を頂けるような会報には程遠いと反省しています。高槻の誇りを旗印に皆様のご評価を頂ける会報にして行きたいと思っています。(馬淵)



高槻市マスコットキャラクター
『はにたん』

■日中友好の陰の主役 岡崎嘉平太

～岡崎嘉平太記念館を訪れて～

そこの展示を観て、彼が地元民や岡山県人にいかに愛され誇りに思われているか、また小学生に対する教育がなされているかがわかった。また日中友好に尽力した原動力が、中学の寄宿時代や旧制1高時代に出会った中国人留学生から聞いた話で、「隣国同士友好を築いてアジアを強くしなければならない。そうしなければ、日本および中国の平和もそしてアジアの平和もない」という強い想いであったとわかった。彼の詳細は紙面の都合で省略するが、日銀マン、大東亜省参事官、元軍需会社の再建、全日空設立、松村謙三氏との出会いなどの経歴から、昭和37年の「日中覚書貿易」締結のため訪中団の副団長として訪中し、周恩来総理ともそこで出会ったと知った。岡崎は周総理を「人生最後の師」として仰いだということである。その時の団長は高碓達之助翁であったのは言うまでもない。

記(高碓研究員)北村正信



岡崎嘉平太副団長

(中央：周総理、左：高碓達之助、その左)

岡崎嘉平太記念館のホームページ

<http://www.okazaki-kaheita.jp/>

■高槻ロータークラブでの卓話

6月7日高槻RCで「磯村弥右衛門と大塚切れ」と題した卓話を行いましたので、その内容を少しご紹介します。

『弥右衛門は12歳で父を、17歳で兄を亡くし、当時通っていた茨木中学を第三学年で断念して当主名弥右衛門を継ぐことになる。その後、大正6年の淀川大洪水“大塚切れ”が発生。彼は若々しい正義感を燃やして救援と復興の仕事に取り組むが、そこで見た村人の根性のある行動に感動し、生涯を政治にかける選択をした。』という内容でのお話です。

次の機会には、磯村翁が高槻市設立に関して如何に貢献したかを、お話したいと思っています。(馬淵)



【勉強会の予定】

- 7/3(月) クロスパル高槻第四会議室
高碓達之助のアメリカ・メキシコ生活
- 8/7(月) クロスパル高槻第一会議室
大宅壮一総集編Ⅰ
- 8/21(月) クロスパル高槻第四会議室
大宅壮一総集編Ⅱ

■お知らせ

平成28年度の事業報告書、活動計算書、貸借対照表をホームページ及び内閣府のポータルサイトに掲載しました。

内閣府ポータルサイト

<https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/027080024>

【語り継ぐ会連絡先】 馬淵晴彦

FAX:072-689-3674

メール:h_mabuchi@office.zaq.jp

HP: <http://takatuki-meiyosakura.ne.jp/>

NPO 法人

高槻名誉
市民を語り
継ぐ会